

2005年7月6日

## エキナカ商業施設第2弾 『ecute(エキュート)品川』

2005年10月1日(土)グランドオープン

JR東日本が推進する21世紀の新しい駅づくり「ステーションルネッサンス」の一環として開発を進めてきた品川駅に、「エキュート品川」が開業します。「駅構内開発小売業」という新しいビジネスモデルによるエキナカ商業施設として今年3月に開業した大宮に続く2号店です。駅東口の大規模再開発や東海道新幹線の駅開業など著しく変貌を遂げ、拠点駅として重要性が高まる品川駅に、滞在する時間を楽しみ、快適に過ごすことができる新しいエキナカ空間が誕生します。

明確なターゲット戦略のもと、都心型の高感度なMDでエキナカの無限の可能性を追求するとともに、品川の地域性を意識したオリジナリティあふれるMDを展開します。

天井に大きく広がるトップライトから自然光が差し込む吹き抜け空間を有する2層のフロア、外気に触れながら豊かな時間を過ごすことのできるオープンデッキなど、新しいエキナカ空間を体感していただけます。

開発運営は、今春3月5日に開業した「エキュート大宮」を運営する(株)JR東日本ステーションリテイリング(本社:東京都渋谷区/代表取締役社長:鎌田由美子)が行います。毎日駅をご利用になるお客さまに、ワンランク上のプライベートスタイルを楽しんでいただけるショップを集積し、新しいステーションライフを提案していきます。

### 1. 全体概要

- 開発運営 (株)JR東日本ステーションリテイリング
- 所在地 東京都港区高輪3-26-27
- 開発面積 約5,300㎡(既存コンコースの改良面積等含む)
- 店舗面積 約1,600㎡
- 売上想定 年間 約35億円
- 設計 (株)ジェイアール東日本建築設計事務所/(株)リックデザイン
- 施工 鉄建・大林・京急 建設工事共同企業体

### 2. 店舗概要

【別紙 1】

#### (1) ストアコンセプト : 「プレミアム・プライベート」

品川駅のボリューム層である20代から30代のビジネスマン・ビジネスウーマンをコアターゲットに、快適にプライベートタイムを過ごすことのできるMDを展開します。女性が一人でも気軽に本格的な料理が楽しめる「プレミアムダイニング」、品川駅の特徴を踏まえ複数の取引先と協同開発した「オンリーワンのコラボショップ」など、スイーツ、デリから雑貨、サービスまで幅広いショップを編集します。

## (2) ショップ例

- 「wanofu」  
大胆かつ斬新な発想で、本格懐石料理がカジュアルに楽しめる“tokyo - style”の日本料理店。世界各国の素材を、若さ溢れる感性で和風にアレンジする新感覚のレストラン。
- 「グランプラス&サザコーヒー」  
“チョコレートとコーヒー”の新しい楽しみ方を提案するコンセプトショップ。ベルギーチョコレートの「グランプラス」と、契約農場をもち素材と製法にこだわる「サザコーヒー」がコラボレーション。
- 「QBG ルパティシエタカギ」  
日本を代表するパティシエの一人である高木康政シェフとナチュラルスイーツメーカー「クインビーガーデン」とのコラボショップ。メイプルシロップやはちみつを使った本格スイーツを、カフェとともに楽しみいただけます。
- 「おにぎり処 こんがりや」  
「おむすび」のおいしさや楽しさを更に徹底的に追求した「おむすび専門店」。「あつあつの焼きおにぎり」や、おむすびと相性のよい「だし巻き玉子」などを、JR 東日本ステーションリテイリングと日本レストランエンタプライズが共同開発しました。
- 「CORNETTO BAR(コルネットバー)」  
“XEX”、“ショコラドアッシュ”などを手がけるワイズテーブルコーポレーションがエキナカ初出店。サルヴァトーレ氏がプロデュースする本場のイタリアンを、手軽にテイクアウトいただけます。

## (3) 環境コンセプト：「J-スタイルテラス」

【別紙 2】

多くの人が行き交う駅構内に、自然や時間の移り変わりを感じることができる場所を、駅の中のテラス空間と捉え、品川宿に由来する日本古来の感性を現代風にアレンジした「J-スタイルテラス」を環境コンセプトとしました。

- オープンデッキやトップライトによる、朝昼夜の変化など自然の心地よさを感じる環境
- 都市における自然の間(ハザマ)、オンとオフの切替地点
- 品川が育んだ文化を現代的に表現した江戸モダンスタイル

“J”は「Japan」(洗練された日本固有のスタイル)、「Jolly」(楽しさ、気持ちよさを追求するスタイル)、「Junction」(交通の結節点、並びに文化と時代の交差するスタイル)を表し、駅にいることを忘れてしまう、朝から夜まで楽しめるテラス空間を創造します。

## 3. 駅改良について

- (1) 既存乗り換えコンコースの壁や天井のリニューアルを行い、明るく開放感のある駅空間に改良します。
- (2) チップ式トイレをリニューアルして拡充するとともに、エキュート品川内にもトイレを新設し、トイレの混雑緩和を図り、快適なトイレづくりを行います。(チップ式トイレは、2005年4月より使用開始)

#### 【参考:品川駅のデータ】

- ◇ 一日平均乗車人員(JR東日本) 295,949人(2004年度・JR東日本管内第6位)
- ◇ 列車本数(JR東日本) 1,971本
- ◇ 乗入・接続…東海道線、横須賀線、京浜東北線、山手線 JR4線  
東海道新幹線、京浜急行電鉄
- ◇ 沿革……………1872年(明治5年)5月7日 開業  
1998年(平成10年)11月1日 橋上駅舎・東西自由通路使用開始  
2003年(平成15年)10月1日 東海道新幹線 品川駅開業  
2004年(平成16年)3月3日 JR品川イーストビル開業

#### 【ecute とは】

JR東日本ステーションリテイリングが開発運営を行う、エキナカ商業空間の名称。鉄道施設を含めた駅の環境計画から、商業施設のMD(マーチャンダイジング)、取引先の選定、売場マネジメント、販売促進などを一貫して行う「駅構内開発小売業」という新しいビジネスモデルを推進。

ecuteとは、「eki」「center」「universal」「together」「enjoy」という5つの単語を、“駅を中心にあらゆる人々が集い楽しむ快適空間”に生まれ変わることを願う意味を込め組み合わせた造語で、その音感から「楽しいことがキューっと詰まっている駅」を表す。

#### エキュート大宮概要

- 所在地 埼玉県さいたま市大宮区錦町 630 番地
- 開発面積 約5,000㎡(既存部改良面積を含む)
- 店舗面積 約2,300㎡(中3階約200㎡を含む、店舗間通路は除く)
- 店舗数 68店舗
- 売上想定 年間 約55億円

#### 開発運営会社

- 商号 (株)JR 東日本ステーションリテイリング
- 本社所在地 東京都渋谷区代々木二丁目2番2号
- 代表取締役社長 鎌田 由美子
- 資本金 480百万円(東日本旅客鉄道株式会社 100%出資)
- 設立 2003年9月12日



**Traveler's Kitchen**

品川駅ならではの「備食ニーズ」、  
「トレインランチ・ディナー」に対応したデリゾーン

**Variety Market**

毎日でも利用したい食を中心とした  
賑わいと華やかさのゾーン

- ウッドデッキ
- エスカレーター
- エレベーター
- トイレ



↑東海道新幹線

↑東山回廊階段

**Favorite Sweets**

話題性のあるコンセプトな  
総合スイーツゾーン

**Prestige Gift**

クオリティの高い手土産ギフトの  
銘店ゾーン

**1F**

**Season Presents**

体の中から、外から美しくなる  
グッズ・サービスゾーン

**Private Restaurant**

一人でも気軽に入れる、満足感ある  
本格派レストランゾーン

**Station Style**

大人のカジュアル  
ステーションライフ

**2F**



**Store Concept**

**プレミアム・プライベート**

自分の時間の使い方にこだわりを持つ、一人暮らしの  
ビジネスマン・ビジネスウーマンをコアターゲットに、  
価値のあるひとりの時間を過ごすことができる上質な  
空間とサービスを提供



①天井に大きく広がるトップライトから自然光が差し込む、開放感にあふれた空間。

### 環境コンセプト

## J-スタイルテラス

- 「Japan」(洗練された日本固有のスタイル)
- 「Jolly」(楽しさ、気持ちよさを追求するスタイル)
- 「Junction」(交通の結節点、並びに文化と時代の交差するスタイル)



②行き交う人々を望める2階のカフェと、明るく開放感のある乗換コンコース



③中央改札口方向から、ecute品川へのエントランス付近を望む。



④朝、昼、晩や季節の変化を感じられる、心地よいオープンデッキ。